

# 町政を問う

## 水道料金値上げは許されない!!



幅田 千富美

子ども子育て新システムで保育の公的責任守れるか

**幅田** 消費税増税と同時に、二党密室談合で強行採決された子ども、子育て新システムは、これまで築いてきた公的保育制度を根本から切りくずし、介護保険同様に、町が保育の必要度を認定、親が利用料を払い、利用する制度に変更、企業参入を許すものと関係者から大反対の声が上がっていた。しかし、世論の力で、市町村の実施義務は残された。

①本町の保育はこれまで通り守られるのか、町長の見識と対応は。  
②保育所最低基準、保育士処遇改善への考えは。  
③子育て支援計画の策定は。  
**町長** ①待機児童対策から始まったことだが、最終的に現実的なところに落ちついた。町の保育の変更はない。②平成二十一年度基準と処遇改善を行った。それ以上は考えていない。③子育て支援計画は、ニーズ調査を実施する。

## 子ども、子育て新システムで町の保育は守れるか 町長 これまで通り実施する

**幅田** 確かに改善はされたが、時給千円以下、ボーンラス一万円、それになり人もある。これで専門職のほり守られるのか、町からワーキングプア作ってはならない。改善を求める。

### 料金値上げしないための五つの提言

**幅田** ①水道施設耐震化で、布設三十年以上経過した送水管、導水管、更新の必要なものはいくらかあるか。  
**担当課長** 全町二〇三kmの内、一四四kmが未実施。

**幅田** ②国は平成二十六年途中で水道事業統合計画策定を義務づけている。

それを機に料金値上げは許されない。その工夫はあるか。五つの提言をする。

- 1 高金利の起債繰り上げ償還
- 2 国・県の支援を求め
- 3 一般会計からの人件費等繰り入れ
- 4 専用水道、事業所分水道料金の見直し、企業の協力を求める
- 5 消費税転化中止を国に求めないか。

**町長** 水道事業統合を見据え、地盤状況等考慮の上、導水管等の更新、樹水、アイノ簡水事業など、有利な補助制度を利用し促進する。その後は事務作業であり、収支バランスを取っていく。専用水道はそれぞれ歴史があり、全体の見直しの中で検討する。消費税転化問題については私は無理な要求だ。

**幅田** 地下資源は地域住民共有の財産、コカ・コーラに、力に応じた協力で、くみ上げ税等考えられないか。

**町長** 特定企業ねらい打ち税はいかなものか。コカ・コーラにはいろいろの協力してもらっている。

**幅田** 地下水は住民、皆の財産、課税は可能。

### 鳥獣被害対策拡充を

**幅田** ①被害が広がっている。現状の把握は。

年度	被害	捕獲数
21年	235 <small>頭</small>	64頭
22年	558 <small>頭</small>	100頭
23年	39 <small>頭</small>	41頭

被害は山側に多いが、今年大きく広がっている。

②防護柵、移動用罾、ネット等の支援を。  
③猟友会に委託事業推進しているが、会員が減少している。捕獲免許取得

への支援は考えられないか。  
**担当課長** 県・猟友会とも協議をしてみたい。

### 外出支援サービスの拡充を

**幅田** ①病人、障がい者の週一回の通院、外出支援の需要は大きいのびている。車椅子対応の配車が必要ではないか。又、料金の公平化図るべき。

**担当課長** 平成十九年度七六九人から二十三年度一四九一人と大幅にのびている。今後ものびる予測であり委託業者と意見交換をしたい。

**町長** 国からの指示で二十二年六月、料金改訂の提案の際、議会で否決された、よかった。現行続けているが、今後、国の指示で負担増加せざるを得ない。

**幅田** 本町には町立病院がないなか、外出支援は患者にとって生命綱。町内どこからの利用も公平料金にすべき。